

役場からのお知らせ

役場からのお知らせ

障害基礎年金をご存じですか

熊本西年金事務所 ☎(353)0142 / 健康・保険課 国保・年金係 ☎(232)4912

障害基礎年金は、病気やけがなどで生活や仕事などが制限されるようになったときに受給できる年金です。年金請求手続きをすると、年金保険料の納付状況や障がいの程度などを日本年金機構が審査した上で、受給できます。

◆対象者

- ①障がいの原因となった傷病の初診日が20歳以前または国民年金被保険者期間中である人
 - ※初診日が厚生年金や共済年金に加入中の場合は、年金事務所や共済組合での手続きになります。
- ②障がいの原因となった傷病の初診日が、被保険者の資格を喪失した後の60歳以上65歳未満の人で、年金の繰り上げ請求をしていない人

◆受給要件

- ①障害認定日*の障がいの程度が、国民年金法に定める1級または2級に該当すること
- ②初診日が属する月の前々月までに保険料を納め

た期間と免除・納付猶予の期間を合算した期間が、加入期間の3分の2以上あること、または初診日が属する月の前々月までの1年間に未納がないこと

※障害認定日とは、障がいの原因となった傷病の初診日から1年6カ月を経過した日または1年6カ月が経過する前に症状が固定した日

◆令和5年度障害基礎年金年額

1級	67歳以下の人 (昭和31年4月2日以後生まれ)	993,750円
	68歳以上の人 (昭和31年4月1日以前生まれ)	990,750円
2級	67歳以下の人 (昭和31年4月2日以後生まれ)	795,000円
	68歳以上の人 (昭和31年4月1日以前生まれ)	792,600円

※障害者手帳と障害基礎年金は、障がいの認定基準が異なります。障害者手帳をお持ちでも障害基礎年金を受給できないことがあります。



「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

友だち追加はこちら↓

◆熱中症警戒アラートを活用しましょう

※熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高くなると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごとに発表されます。

発表された情報はテレビやSNSなどを通じて発信されます。

◆予防のためのポイント

熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態のことです。屋外だけでなく室内でも何もしないときでも発症し、救急搬送や場合によっては死亡することもあります。適切な予防・対処を行うことで防ぐことができます。

熱中症を予防しましょう

健康・保険課 健康増進係 ☎(232)4912



◆エアコンをしっかりと使しましょう

熱中症は室内や夜でも発生し、命に関わる問題です。

- ・無理な節電をせず、夜もしっかり使用する
- ・日中はすだれなどで日差しを和らげる



アラート発表時には、のどが渇く前に小まめに水分・塩分を補給する

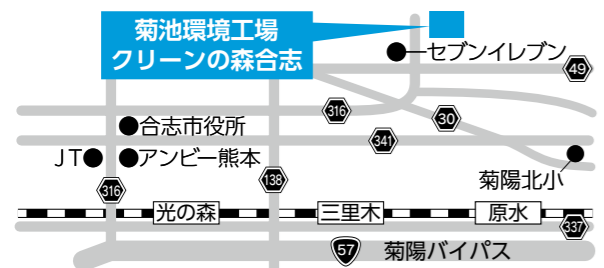
- ・昼夜問わずエアコンを適切に使用する
- ・涼しい服装にする
- ・高齢者、子ども、持病のある人など、熱中症になりやすい人に声をかける
- ・不要不急の外出はできるだけ控え、暑さを避ける
- ・暑さ指数(WBGT)に応じて、外での運動は、中止・延期する

クリーンの森合志 地域交流会を開催

環境生活課 環境生活係 ☎(232)2114

菊池環境工場「クリーンの森合志」で、ごみ処理の仕組みを学べる地域交流会を開催します。

- ◆日時 8月20日(日) ※雨天決行
 - 午前の部：午前10時～11時
 - 午後の部：午後1時～2時
- ◆内容
 - ①ごみ焼却施設の内部を見学
 - ②体験型環境学習(マイバック制作+ガイドツアー)
- ◆費用 無料
- ◆その他 申し込み不要。会場に直接お越しください。※団体での参加もできます。



菊陽町食品衛生協会の活動を紹介します

菊陽町商工会内 食品衛生協会事務局 ☎(232)2757

食品衛生協会は、町内の食品関係事業者へ「食品衛生」に関する講習会の開催、一斉巡回指導を行っています。万が一の食品事故に備え、会員のための食品共済保険の取り扱いや、町内小学校での手洗い講習会も行っています。

8月は食品衛生月間です。「食の安全」を守るため、厚生労働省や県と連携しながら、食中毒予防などの食品衛生月間事業に取り組んでいます。

食品衛生協会では、町内食品関係事業者の会員を随時募集しています。詳細は、商工会へお問い合わせください。



(環境省リーフレット「熱中症警戒アラート全国運用中」)を参考に町で作成



◆マスクは適宜外しましょう

マスクをつけると皮膚からの熱が逃げにくくなり、気づかないうちに脱水状態になるなど、体温調節がしづらくなります。

・マスクを着用する場合は、負荷のかかる作業や運動は避け、のどが渇いていなくても小まめに水分補給を心がける



・小まめにエアコンのフィルターの手入れをする

停電時など、どうしてもエアコンが使えないときには

- ・日光を遮り、風通しを良くする
- ・濡れたタオルなどを肌当て、うちわであおぐ
- ・できるだけ、冷房設備が稼働しているところへ避難する
- ・停電時の断水に備え、飲み水を備蓄しておく
- ・電力需給ひっ迫時には、浴槽やバケツに水をためておく

熱中症が疑われるときは

- ・涼しい場所に避難し、服を緩め体を冷やす
- ・自力で水分が取れる場合は水分・塩分を補給する
- ・意識がない、自力で水が飲めない場合はためらわず救急車を呼ぶ

体温を効果的に下げるための方法

- ・皮膚にぬらしたタオルやハンカチを当て、扇風機やうちわであおぐ
- ・服の上から冷やした水を少しずつかける
- ・氷のうや冷えたペットボトルなどを、首、脇の下、足の付け根に当てて冷やす